

記載例

第1号様式（第8条関係）

川崎市「新しい生活様式」対応研究開発補助金交付申請書

令和〇年 〇〇月 〇〇日

（宛先）川崎市 長

本店所在地 川崎市〇〇区〇〇町〇〇番地

商号 〇〇株式会社

代表者職・氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 印

事業実施場所 本店所在地と同じ

〔連絡担当者〕

氏名 〇〇 〇〇

所属・職名 〇〇課 係長

電話番号 044-000-0000

メールアドレス 00000@xyz.jp

代表者印を押印
（例：代表取締役印）

日中、連絡の取れる連絡先を
記入してください。

川崎市「新しい生活様式」対応研究開発補助金交付要綱第8条の規定により、次のとおり申請します。

採択時、発表されても問題ない事業名とすること。

事業名	〇〇に関する〇〇〇〇の開発
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症に関わる検査や治療に関する研究開発 <input type="checkbox"/> 感染予防製品等の研究開発 <input type="checkbox"/> 「新しい生活様式」に向けた事業活動の効率化に資する研究開発 <input type="checkbox"/> 「新しい生活様式」に向けたICTを活用した地域経済活性化に資する研究開発
大学等との共同研究	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
補助対象額	7,500千円
補助申請額	5,000千円
企業概要	別紙1
事業計画	別紙2
経費内訳	別紙3

補助対象額の4分の3以内。
通常は上限200万円、
大学等と共同研究を行う場合は
上限500万円。
千円以下は切り捨てとする。

別紙 1 企業概要

◆概要

商号	〇〇株式会社	代表者 職・氏名	代表取締役 〇〇 〇〇
本店所在地	川崎市〇〇区〇〇町〇〇番地		
事業実施場所	本店所在地と同じ		
電話番号	044-000-0000	メールアドレス	00000@xyz.jp
業種	〇〇業（産業分類の中分類）	従業員数	〇〇名
資本金	〇〇千円 （大企業の出資割合 0.0%）	創業年月	平成〇〇年〇〇月
主要製品	〇〇装置 約60%	主要取引先	株式会社〇〇 約30%
	〇〇機械 約20%		〇〇株式会社 約20%
	〇〇部品 約10%		有限会社〇〇 約10%

◆事業実績（※直近2期分）

決算期	令和元年／12月期	平成30年／12月期
売上高	300,000 千円	280,000 千円
営業利益	35,000 千円	30,000 千円
経常利益	30,000 千円	27,000 千円

◆自社PR等（※得意技術や独自技術、過去に実施した研究開発、特許取得の実績など）

【会社概要】
~~~~~

**【得意技術】**  
~~~~~

【独自技術】
~~~~~

**【過去に実施した研究開発】**  
~~~~~

【特許取得実績】
・~~~~~
・~~~~~
・~~~~~

※書ききれない場合には、次頁へ記入してください。

以下、自由記述欄については、あくまで例示ですので、必要な項目が満たせれば、この書き方に限りません。

別紙2 事業計画

別紙2で5～7枚程度を目安としてください。

専門用語をできるだけ避け、わかりやすい記述としてください。

写真や、図表を用いてもかまいません。その際、別紙として添付してもかまいません。

◆ 事業の概要

*** 開発概要** (※研究開発を行う背景や課題、目的(最終目標)等について、300文字程度で具体的に記載すること)

1 開発の背景

~~~~~

#### 2 開発の最終目標

~~~~~

*** 開発内容** (※本事業における研究開発の目標、内容等を記載すること。また、開発項目ごとに目標、解決手段、実施内容を具体的に記載すること)

1 本事業における目標

~~~~~

#### 2 開発項目

##### (1) ○○○○

##### ア 目標

~~~~~

イ 課題

~~~~~

##### ウ 解決手段・実施内容

~~~~~

(2) ○○○○

ア 目標

~~~~~

##### イ 課題

~~~~~

ウ 解決手段・実施内容

~~~~~

.

.

.

研究開発が複数年にわたる場合、ここでは、本補助事業として、補助期間内に行う研究開発について、抜粋して記述してください。

従来品との違いを、数値等を用いて明確に記述してください。  
必要に応じて、他社製品との比較表等を記載してください。

**\* 新規性・独自性** (※従来の製品等がない優れた点、模倣されにくい点、知的財産の取得可能性について記載すること)

従来の製品は~~~~~であったが、本事業では~~~~~に優れており、~~~~~新規性・独自性を有する。

また、本事業により~~~~~で特許を申請する見込みである。

**\* 市場性**（※開発された製品等の市場ニーズ、市場規模、市場でのシェア獲得の見込み等について記載すること）

現状、〇〇の国内参入企業は~~~~~、市場規模は〇〇億円と推定される（出典：〇〇）。

本事業で開発する〇〇は~~~~~優位性があるため、~~~~~  
~~~~~市場において十分な競争力がある。したがって、本事業が成功した場合、市場の〇〇%程度のシェアを獲得できる見込みである。

完成年度は〇〇年度を見込んでいるが、その初年度売上目標は〇~〇億円に設定し、翌年度以降については、市場規模が拡大することを想定し、〇億円→〇億円と想定する。

*** 事業化の見込み**（※事業化にむけて必要な事項（追加開発、生産・販路開拓の体制整備等）について記載すること）

補助事業終了後、~~~~~を経て、~~~~~、〇〇年度の完成を目指す。その後、実用化に向けて~~~~~、〇〇年度までに市場へ投入する。

流通については~~~~~、販売体制は~~~~~。

*** 社会性**（※研究開発の成果が社会や産業界に与える影響を記載すること）

本事業が成功すれば、~~~~~と予測される。~~~~~
~~~~~に大きく貢献する。

**\* 産学連携性**（※申請者と大学等との役割分担や共同研究開発の意義を記載すること。ただし、大学等と共同で研究開発を行う場合のみ記載すること。）

〇〇大学〇〇学部の〇〇教授は~~~~~。~~~~~  
~において、~~~~~という実績を持っている。

弊社は~~~~~技術を有している。

弊社と〇〇教授は〇〇学会で面識を持ち、~~~~~、本事業において共同研究を行うこととなった。

役割分担としては、〇〇教授は主に~~~~~を担当し、弊社は~~~~~  
~~~~~を担当する。

【備考】（※他の助成制度（補助金等）の活用状況（見込み含む）、産業財産権の出願、研究論文や学会発表したものがあれば記載すること）

（他の補助金）

本事業は~~~~~にも申請予定である。

（既存特許）

・~~~~~

（研究論文）

・~~~~~

・~~~~~

※書ききれない場合には、次頁へ記入してください。

※説明に資料が必要な場合には、別添として添付してください。

◆開発体制（※書ききれない場合は別紙に記入すること。）

* 研究開発に参加する大学、企業、専門家等について

研究代表者名：〇〇 〇〇 （所属） 〇〇株式会社

※原則として申請者に属する者

| | |
|----------|---|
| 大学及び研究者名 | 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 教授 〇〇 〇〇 |
| 研究内容 | <p>(大学等と共同で研究開発を行う場合のみ記載すること。)</p> <p>1) ~~~~~の研究
2) ~~~~~の評価</p> |
| 参加者氏名 | 〇〇 〇〇 （所属） 〇〇株式会社 |
| 開発役割等 | <p>1) ~~~~~の開発
2) 試作品開発</p> |
| 参加者氏名 | 〇〇 〇〇 （所属） 〇〇研究所 |
| 開発役割等 | 1) ~~~~~における実証実験 |
| 参加者氏名 | (所属) |
| 開発役割等 | |

川崎市外の大学等でも問題ありません。

◆ 開発スケジュール

※今年度の研究開発のスケジュールを記載すること。

※「事業の概要」の「開発内容」に合うように記載すること。

開発期間： 令和2年 11月 ~ 令和4年 2月（予定）

| 活動内容 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
|-------|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|--|
| 〇〇の研究 | → | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 〇〇の開発 | | → | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実証実験 | | | | → | | | | | | | | | | | | | | |
| 改良 | | | | | | → | | | | | | | | | | | | |
| 再検証 | | | | | | | | | → | | | | | | | | | |
| 試作品開発 | | | | | | | | | | | | | → | | | | | |

別紙3 補助対象経費内訳

(単位：円)

| 費 目 | 金 額 |
|---|---------------------------------|
| (1) 原材料・消耗品費
(内訳) ○○○○
○○○○
○○○○ | 200,000
300,000
1,250,000 |
| 小 計 | 1,750,000 |
| (2) 機械装置・工具費
(内訳) ○○加工機 | 1,000,000 |
| 小 計 | 1,000,000 |
| (3) 外注加工費及び調査分析費
(内訳) ○○加工
○○実験 | 1,000,000
700,000 |
| 小 計 | 1,700,000 |
| (4) 産業財産権導入費
(内訳) 特許出願弁理士費用 | 500,000 |
| 小 計 | 500,000 |
| (5) 技術指導費
(内訳) ○○大学との共同研究費 | 2,500,000 |
| 小 計 | 2,500,000 |
| (6) その他経費
(内訳) ○○試験に係る装置運搬費 | 50,000 |
| 小 計 | 50,000 |
| 補 助 対 象 経 費 の 計 | 7,500,000 |
| 補助対象外経費
(内訳)
社内人件費
旅費
印紙代 | 3,000,000
500,000
15,000 |
| 総 事 業 費 | 11,015,000 |

※補助対象経費に消費税と支払いにかかる手数料は含まれない。